

農地・水・環境保全だより 第6号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

平成22年度農地・水・環境保全向上対策 伊勢管内事例発表会が開催されました

平成22年8月3日に伊勢市御園町のハートプラザみそのにおいて、伊勢志摩地区（伊勢市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町）で農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織や三重県、市町、水土里ネットみえの関係者など、100名余りが参加して「平成22年度農地・水・環境保全向上対策伊勢管内事例発表会」が開催されました。

この事例説明会は、各活動組織相互の情報交換や意見交換を通じて、各活動組織が地域における農地保全活動や環境活動の質的向上を図り、地域振興に一層活発に取り組んでいただくことを目的として昨年を引き続き開催されました。

主催者である三重県伊勢農林水産商工環境事務所の油谷敬朗所長の挨拶に続き、政策部「美し国おこし・三重」福田推進特命監が「美し国おこし・三重」の取り組み内容を説明、続いて三重県農業基盤室野村主幹が本年度に体制整備構想（案）を提出する必要がある平成20年度より農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織に対し作成方法を説明し、最後に水土里ネットみえ指導情報課庄村課長補佐から共同活動支援交付金に係る報告書等の記入方法についての注意点について説明がありました。



【油谷所長挨拶】

その後、伊勢志摩地区の4つの活動組織よりそれぞれの取り組みについて発表がありました。

①かづら地水会（度会町）

農業者の高齢化に伴う休耕田の増加や耕作放棄地の荒廃の防止、休耕田対策としてレンゲの植栽、用水路の沈下対策として用水路の嵩上げ補修、獣害対策として猪害用の電気柵の設置、池干しによる外来種駆除

②蚊野水と緑を守る会（玉城町）

開水路の泥上げ、水路側壁のはみだし修正、開水路の目地補修、農用地の法面補修と法面にカバープランツの植栽、コスモスの植栽、生態系保全のための生き物調査、生活排水路の浄化を目的とした水質保全のためのEMダンゴの投入

③原農水環境を守る会（玉城町）

農事部会と環境部会の2つで運営

3年間で排水路改修（底張、柵板補修）を16ヶ所、農道整備（草刈、敷き砂利、コンクリート打設）を8ヶ所

休耕田を利用したコスモスの植栽、ホテル観察会、環境部会だよりの発刊、国東川環境調査、生き物観察会、環境学習会、ビオトープづくり調査・アンケート、体制整備構想（案）の作成に当たって住民のアンケート調査を実施



【事例発表会の様子】

④津村町地区農地・水・環境保全会（伊勢市）

ジャンボかぼちゃ大会、農業用水の地域用水としての利用管理、遊休農地への草花の植栽、啓発・普及のための看板の設置（花開道）、ゲート類の保守管理のため池干しを行い、併せて外来種の駆除を実施

事例発表の最後に、津村町地区農地・水・環境保全会の樋口書記より「このような美しい自然や環境を子や孫の代まで引き継いでいくためにも、このようなすばらしい事業を継続していきたいと思っているのでこの制度が続くようお願いしたい」との意見があり、この事例発表会は盛会に閉会しました。

◎活動組織情報◎

・丈六農地・水・環境保全隊（名張市）

丈六農地・水・環境保全隊は、伊賀地域の南西部、名張市赤目町丈六地内の住民で組織をつくり、平成19年4月に活動を始めました。村内を赤目四十八滝を源とする滝川が流れる水田耕作を中心とした農村集落です。協定農用地面積は38.1haで、開水路8.4km、農道6kmの保安全管理を行っています。

主な活動内容は、農業施設の保安全管理をはじめ、遊休農地を活用して老人会や青壮年の会、子ども会との共同作業でさつま芋を栽培して、地域住民の間で世代や農家・非農家を越えた交流を促進しています。この他、生態系保全や地域資源の再発見を目的として、特別天然記念物のオオサンショウウオが生息する滝川で子ども達を対象とした自然観察会を毎年夏に開催しています。また、今年の春には滝川の河川敷に植えられた桜並木の夜間ライトアップ



【桜並木のライトアップ】



【ポット苗の植付け作業】

アップを初めて実施したところ、たくさんの方々が見に来られて、かけがえのない地域の財産として再認識いただくと共に農地・水の活動についても理解を深めていただくことができました。さらに、昨年からの活動の一環として、ヒメイワダレ草を種苗から育てて農地の畦畔に植栽する活動に着手しています。活動を始めてから今年で4年になりますが、このように少しずつ活動の幅を広げてきました。

私たちは組織の名称を短く「六保隊（ろっぽたい）」と呼んでいます。これは「急がずに、いっぽ（一步）、一步、着実に歩いて行こう」という思いを込めた愛称です。来年は協定期間の最終年となる5年目を迎えますが、今後も農地の保全、農業の再生に向けて、いっぽ、いっぽ歩みを進めていきたいと思っています。

（9月24日投稿）

・山田町自然を守る会（四日市市）

山田町は四日市市の南部に位置し、足見川、鎌谷川という一級河川の周辺にあり、里山には歴史を感じさせる古墳も多く、現在もどこか昭和的雰囲気のあるのどかな農村地域です。しかし、町内の高齢化や混住化が進んできたため、農地や開水路、農道などの保安全管理が困難な状況になり、町内の豊かな自然環境や景観まで影響することが心配になってきていました。

平成19年から農地・水・環境保全向上対策事業が始まることを知り、山田町各種団体（自治会、子供会、慶寿会、消防団、農家組合、水利組合、南部土地改良区）が協議し、山田町自然を守る会としてこの事業に取り組み始めました。

荒廃状態にあった水田は、雑木・雑草を処理し農地に復活させ、開水路は何年も放置されていたため、雑草や土砂で詰り水路ではありませんでしたが、毎日の筋肉痛と戦いながらの泥上げ作業により、計画的に改善が進んでいます。また、しがらみ（柵作成工法）での畦畔・路肩の補修など、昔ながらの工法を次世代に伝えることを行っています。



【しがらみ（柵作成工法）】



【保育園児とレンゲ畑】

とりわけ景観活動は楽しいです。幼児から高齢者まで多くの方々の参加で種まきからスタートし、草や水の管理をしながら成長を楽しみ、開花すると蝶々などの虫たちだけでなく、町内の散歩される方や近くの保育園の児童たち、町外から車に乗って訪れる方と、多くの人にも集まって楽しんでもらっています。

春はレンゲに菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスと山田町はいつもどこかで花が咲いています。ぜひお越しいただき、昔ながらの良さが残っている町の空気を楽しんでください。

山田町の伝統や文化は、「農」の営みをもとに継続されてきました。これからも町内の人々の心を育て、また癒しを感じられるように守り続けることが大切です。

昔から年2回、町民全員が出会いでの草刈り、水路の清掃等のボランティア活動を継続してきました。伝統の助け合いをもとに、この活動をますます発展させていきたいと思っています。

（9月29日投稿）

